

科目名 (Eng)		社会科学Ⅰ (Invitation to Social Science I)								
担当教員		川崎俊郎・木原 淳								
対象学年等		学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
		一般科目 (コミ科)	2	通期	必修	2	60	一般	B	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-1)．(A-2)．(A-3)．(A-4)．(A-5).. 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1).									
授業の概要と方針		現代の政治及び経済活動を理解する上で必要となる基礎的な知識と考え方を教授する。								
到達目標		①市場原理の基礎を理解する。 ②財政政策・金融政策の基礎を理解する。 ③日本国憲法の基本原理と日本政治の基礎知識を習得する。 ④国際社会の秩序とルールに関わる基礎知識を習得する。								
授業計画										
前期	週	授業項目	理解すべき内容						事前学習	
	1	経済体制	資本主義経済・社会主義経済・修正資本主義						①配布プリントを読んでおく。 ②授業内容のまとめをしておく。	
	2	国民経済	経済主体・経済循環・需要と供給・価格の自動調節機能							
	3	市場の機能と限界	完全競争市場・独占市場・寡占市場・寡占の形態							
	4	金融 1	貨幣の機能・直接金融と間接金融・金融機関の種類							
	5	金融 2	信用創造、金融政策							
	6	財政 1	予算、租税制度、日本の財政の特色							
	7	財政 2	財政政策、公債の問題							
	8	国民所得 1	国民所得の概念、三面等価の原則、経済成長率							
	9	国民所得 2	国民所得および、経済成長率の計算							
	10	景気 1	景気循環の概念、景気循環の波							
	11	景気 2	第二次世界大戦後の日本経済							
	12	物価 1	物価の考え方、物価指数							
	13	物価 2	インフレーションおよびデフレーションの種類と対策							
	14	労働問題	失業の種類、失業率とその計算							
15	経済を見る眼	授業の総まとめ								
後期	16	政治とは何か	人間と政治、支配の正当性						資料の指定箇所を読む	
	17	代表民主制	民主制、法治主義、法の支配							
	18	各国の政治制度	政体の区分、大統領制、議院内閣制							
	19	日本国憲法の成立と基本原理	憲法成立の経緯、国民主権と象徴天皇							
	20	人権の保障	人権の分類、新しい人権							
	21	統治機構	国会、内閣、裁判所の関係							
	22	現代日本の政治(1)	メディアの影響と民主政治							
	23	現代日本の政治(2)	選挙制度							
	24	現代日本の政治(3)	戦後日本の政党政治							
	25	国際社会の成立と法(1)	戦争観の推移、主権と国際法							
	26	国際社会の成立と法(2)	国際連盟の崩壊、国際連合のしくみ							
	27	冷戦期までの国際政治	二つの世界大戦、東西対立							
	28	日本の安全保障	自衛隊と日米安全保障条約							
	29	冷戦後の国際政治	冷戦構造の崩壊、9.11テロ後の世界							
	30	まとめ	現代社会を見る眼							
試験について		中間試験は実施しない。前期及び後期期末試験(50分)を実施する。但し、再試験の受験は、定められた期限内に課題を提出した者のみに認める。								
評価方法		定期試験60%、課題40%の割合で評価する。								
教科書		配布プリント、『資料政治経済』（清水書院）								
参考書		山崎広明編(2010)「もういちど読む山川政治経済」山川出版社 藤井 剛著(2008)「詳説政治・経済研究」山川出版社								
関連科目		社会科学演習Ⅰ、社会科学演習Ⅱ、法学概論、経済学概論								
履修上の注意		授業は配布プリント中心に進めるので、なくさずに必ずファイルすること。また課題・レポートは期限・様式を厳守すること。								